


令和元年度 研究サマリー

研究会名称	EPOC 研究会	
代表者所属	学校法人金城学院	
代表者氏名	戸苺 創	
研究方法・結果	<p>在胎 33 週未満の低出生体重児の約 5%に Periventricular Leukomalacia (PVL)が発症することが判明している。PVL が両側性に発症した場合、ほぼ 100%に脳性麻痺 (CP) が発症することが判明している。一方で、エリスロポエチン (EPO) が低酸素-再還流時に脳内で発現することや、神経保護作用のあることが判明されていることと、小規模の臨床試験でその安全性が確認出来たことから、臨床での応用を目的に大規模な多施設共同研究の臨床試験を実施してきた。最も精度が高いとされる二重盲検試験を実施したが、解錠することで解析を行った結果、主として症例数の不足もあり、有意な PVL 発症予防効果を得るには至らなかった。</p>	
研究成果	<p>EPO による有意な PVL 発症予防効果を得るには至らなかったが、同時に得られた Periventricular Echo genecity (PVE)が PVL さらには CP の発症に関与していることが判明した。そこで、本研究では、PVE の出現過程をより詳細に究明すべく、さらなる基礎的研究が必要と考えられた。</p>	